

理系 VS こてこての文系

校長室で、夕方に4名で作業をしていた時のことです。

皆さんは、たくさんの封筒に糊付けをしたら新聞紙を敷いて、と普通に
思いませんか？

文系人間の総務主任と私は、古新聞が要るよなあと素直に思いました。

「新聞、新聞。」と隣の事務室に長谷川主任が新聞紙を取りにいき（その新聞が、その日の夕刊であったことはかなりマズイですが、本校の寛大な事務室の皆さんは糊で一部ベトベトになった夕刊を見ても勘弁してくれました。）、校長室に戻ってきました。ところが、新聞紙を見た数学科の藤井先生と化学の小澤先生の反応が、どうもおかしい。「なんで、新聞紙なんか使うんですか？」「そうそう、そんな無駄なことをしなくても、簡単かつ一気に、そしてキレイに糊付けぐらいできるのに。」と声をそろえて、言ってくるんですよ！

文系2名はムツとして、すかさず反論。「でも、新聞紙を敷かなかつたら糊がはみ出してテーブルが汚れるじゃないですか。校長室の机を汚したら、まずいでしょ。」と言うと、「なぜ、はみ出るほど糊を使うんですか。あり得んでしょう！それこそ無駄で、効率が悪くて、後片付けも要る。ちょっと考えたら、整然と早くやれる方法があるのに。我々、理系人間は絶対しませんね、新聞使うなんて。」とムカつくことを述べ、文系人間の最も弱いところである『理論武装』してくるのですよ。

このままでは完全に負けそうなので、「・・・そんな屁理屈言っていないで、さっさと仕事する！さあ、始めるよ！！」と不満げな理系人間を一喝し、意地になって新聞紙の上にはみ出した糊をくっつけて・・・作業は終了しました。

地域の皆様にお世話になります。

(来年度台湾高校生来校)

本校の2コースと交流のある台湾の中興高級中学校生徒60名が6月に来校することになりました。午後、体育館での歓迎セレモニー、授業体験、クラブ体験を企画しているのですが、10時ごろに到着予定とのこと。午前中をどうするか？地域の皆様の応援が、もしいただけるなら、お願いできないかとセンターに打診をしましたところ、活け花体験を快く引き受けてくださり、お世話になることになりました。突然の申し出にもかかわらず、いろいろとアイディアを出していただき、本当にありがとうございました。どうぞよろしく願いいたします。